

学 園 報

No.30

富山国際学園 URL <http://www.tii.ac.jp/>
 富山国際大学 URL <http://www.tuins.ac.jp/>
 富山短期大学 URL <http://www.toyama-c.ac.jp/>

富山国際大学付属高等学校 URL <http://www.tuins-h.ed.jp/>
 富山短期大学付属みどり野幼稚園 URL <http://www.fsnet.or.jp/~mildorino/>

●学校法人富山国際学園

〒930-0193 富山市瀬海寺水口444
 TEL/076-436-5139
 FAX/076-436-5444

学園は、改築を進め未来へ「進化」！



理事長
金岡 祐一

(1) 理事長からのご挨拶：思えば私は国立大学教官35年余を勤め上げて退官し、平成3年帰郷して本学園へ仲間入り。平成5年、不肖・理事長、短大学長に就任以来19年。この間、国際大学長も2期（6年）兼務し、ようやくこの3月、短大学長を「卒業」の運びになりました。もちろん永すぎたが、諸般の事情と責任上、やむをえなかったとご理解いただきたい。富山女子短期大学は富山県・私立高等教育機関第一号として昭和38年出発した、本学園の歴史上の「基幹校」。当然「然るべき」学長に任せたく、昨年、相当に努力したにもかかわらず残念ながら新学長決定に至らず。結局、国際大学をお任せしている中島恭一学長に、「まげて」差し当たり兼務をお願いすることにしました。超多忙の中、承諾されたご厚意に感謝し、もとより理事長としては支援をつくしたい。ここであらためてこの19年、全面的にご協力下さった短大教職員の皆様に、心からお礼申し上げ、あわせて中島・新学長へのご協力をお願いします。なお、私は「ウルサイ」理事長として従来同様に常勤するので、今後ともご意見をお寄せ下さい。多大な貢献をされた押田常務理事が退任され、後任の山本局長をどうか宜しく。押田氏は評議員・相談役として、これからも学園に協力されます。

(2) 富山国際大学：〔現代社会学部〕は(a)初めての卒業生を社会へ送り出しました。加えて新カリキュラムがスタート。必修科目拡大、外国語能力強化、キャリア教育充実。(b)エクステンション・カレッジ開設。講座は「アジアの中の日本と富山」、「人間をみつめ直す」等。(c)学生の就業力育成支援事業。〔子ども育成学部〕は(a)いよいよ完成年度を迎えました。4学年300名、短大幼教約180名をあわせ約500名の「未来の教育者」が学ぶE館の盛況！(b)キャリア支援は、支援講座と窓口。(c)春休み期間中は、社会福祉士実習、教員採用、公務員教養試験対策講座等に注力。〔国際大学の経営改善計画〕こそは、学園の至上命題。中島学長が先頭のご努力は、理事長として感謝。今や目標は近し。

(3) 富山短期大学：(a)4学科・専攻科をあわせ369名の新入生を迎え、今年から念願の校舎改築に着手。かねてから学園50周年記念事業も検討。(b)食物栄養学科は地域特産品の研究へ。「ホタルイカの脂肪肝改善効果」(竹内准教授)は全国報道。富山県関係者は大喜び。研究の推進を。ほか黒

部ジャンボスイカ（深井教授）、加積リンゴ（原田教授）。専攻科は5名中4名が管理栄養士国家試験に合格。(c)幼児教育学科は、E館中の子ども育成学部との「共生」へ建設的・相互努力中。センター「越の子」64回の伝統は立派。(d)経営情報学科は三位一体〔ビジネス実務、キャリア演習、インターンシップ（1年生参加96%）〕のキャリア教育。学力も充実し5名が国公立大学へ編入学。(e)福祉学科はボランティア活動に注力。中学に及ぶ「草の根」の努力の結果、志願者微増の兆しか？(f)短大部活動は、全国私立短大体育大会で卓球、バドミントン入賞。

(4) 国際大学付属高校：(a)懸案の耐震化が実現し新校舎が完成、意気高し（学園呉羽キャンパス校舎の偉容は新幹線からは一望！）。(b)新入生大幅増（369人）（県内の県立・私立校で最高は、創校以来）。中田校長の指導の下、教育力を一そう充実し明日につなげよう。(c)部活では、全国選抜大会にバドミントン女子、テニス男女、弓道が出場。これぞ「文武両道・高校」の面目。

(5) 短大付属みどり野幼稚園：(a)努力が奏効、園児数増加により4から5クラス編成へ。園内も改装し男子教員1名増。(b)ケーブルテレビ富山の「子育てホットライン」に放映（毎月）。

(6) 社会福祉法人富山国際学園福祉会・にながわ保育園：信頼されている「地域に根ざした保育者の子育てパートナー」として、おやじの会や保護者会の充実をめざす。「みんな輝け！笑顔あふれる保育園」のキャッチフレーズは「えがおがばっ、こころがばっ」。

(7) 学園50周年：学園は来年、50周年を迎えます。未来への発展と、戦後の「富山県教育界の歴史」の中で本学園の比類ない貢献を顕示すべく、記念事業の「実施委員会」開設。全学園の皆様の力強いエネルギーを「強大な学園ベクトル」へ結集したい。今後は全教員諸氏の「奮起・研鑽」はもとより、とくに事務職員諸氏の「勉強・実力向上」に基づく私立学園運営への「前例なき積極的参加」を期待する。「この50年の輝く実績」を踏まえ、日々、自信をもって力を貯え、学園の「次の希望の50年」へ向かうではありませんか。

CONTENTS

□学園は、改築を進め未来へ「進化」！

理事長 金岡 祐一 1

□特集1 富山短期大学学長就任にあたって

富山短期大学学長 中島 恭一 2~3

□特集2 新校舎着工

..... 3

□特集3 活気漲る新校舎で新生国際高校へ

..... 4~5

□平成24年度入試状況・平成23年度進路状況

..... 5

□平成24年度予算概要

..... 6~7

□学園退職者・新任者一覧

..... 7

□学園NEWS

..... 8



富山短期大学学長就任にあたって

富山短期大学学長 中 島 恭 一

金岡学長の後を継いで、本年4月1日より富山短期大学学長に就任しました。富山国際大学学長との兼任となりますが、短大での経験豊かな小芝副学長をはじめ有能な幹部の方々、そして教職員の皆様方のご協力を得ながら、務めをはたしていきたく思いますので、どうか宜しく申し上げます。金岡理事長には、これまで理事長職に加えて長期間に亘り学長を務めていただきましたことに感謝申し上げますとともに、今後とも健康に留意されながら、本学園の理事長として指導していただくことをお願いいたします。

さて、少子化と人口減時代を迎え、日本の大学をめぐる環境は厳しさを増しています。特に、私立大学のほぼ半数は定員割れとなり、厳しい競争と淘汰に直面し、社会の厳しい評価に晒されています。とりわけ、短期大学は全国的には、入学者は減り続け、平成5年の25万人から7万人までになっています。これは、大学全入時代、そして大学進学率が50%を超えるユニバーサル段階に入って、四年制志向が強まったことが挙げられます。

こうした中で、富山短期大学は全体として入学定員数を確保しています。これは、創立以来の49年に亘る伝統と教育実績が地域社会から評価されていること、とりわけ女子短期大学以来の女子育成の地域拠点として高い評価をうけていること、そして地域のニーズに応え、短期大学の目的である職業能力や实际生活に必要な能力の向上に実績を上げ、地域での高い就職率を維持してきたことがあると思います。

しかし、今後、更に少子化が進行することを考えると、厳しい状況であることには変わりはなく、教

職員はその危機感を共有する必要があります。まさに、富山短期大学が、地域における知の拠点、人材育成の拠点として役割を発揮し、社会から、特に地域社会から更なる評価と信頼を得ることができるかどうか問われています。

私はこのような厳しい状況を乗り越えていく上で、次の3点を強調したいと思います。

1 建学の精神や大学の目的・理念を大切にして、私学としてのアイデンティティーや存在意義を明確にすることが重要です。

富山短期大学は学則で「職業又は实际生活に必要な能力の向上をはかるとともに、高い知性と広い教養と健全にして豊かな個性を持った地域社会の発展に貢献する人材を育成する」との建学の精神を含めた目的を掲げています。こうした精神や理念を空文句にせず、文字どおり、教育の中に貫き、理念を踏まえた特色を打ち出していくことが大切です。

2 「大学全入時代」を迎え、入口での質確保を競う時代から、出口での質保証を競う時代に変わっています。学生が多様化して学力格差、学習意欲の格差が広がる中で、個に対応した教育・指導も強化しながら、出口で確かな職業能力や生活に必要な能力を保証し、学生自身も成長を実感できる教育を実践することが極めて重要です。高い就職率や資格の取得率を確保することは当然ですが、社会で活躍できる基礎力をしっかり身につけるように教育力を一段と高める必要があります。

3 本学の学生の9割以上が富山県出身者であり、その多くが卒業後は地域で活動します。この地域で学べる利点を生かして、学生にも文字どおり地域全体をキャンパスと考えて、地域の中に入り、地域で学びながら、地域での活動力を育てることが重要です。また、教員の教育研究成果をはじめ大学の持つ知的資産を地域社会に還元する活動を通して、地域の中での存在感を高めることも重要です。こうした活動を通して、地域と共に歩み、地域に育てられ、地域の発展に貢献する大学として発展できるよう、一層力を尽くす必要があります。

来年は富山短期大学及び富山国際学園の創立50周年を迎えることになり、また短期大学の新校舎の建設が進められています。50周年の節目に際して教職員が教育に臨む決意を新たに、また様々な50周年

の記念事業の展開を通して、地域での存在感を高め、学生確保や教育評価の向上に繋げていく必要があります。

全国的に私学をめぐる経営環境が厳しくなる中で、富山国際学園も例外ではなく、学園の各教育機関が入学定員を確保し、教育の質向上や学生支援への努力を向上させつつ、経営改善を図るという困難な課題を克服することが求められています。富山短期大学においても、教職員の皆さんにそのための努力をお願いする次第です。

地域の代表的な私立総合学園である富山国際学園が、そして伝統のある富山短期大学が、地域における知の拠点、人材育成の拠点としての役割を十分に発揮して、一層の発展を遂げるために少しでもお役に立てるように努力したいと思っています。

特集2

新校舎着工

富山短期大学は、平成25年度に、創立50周年を迎えます。

創立50周年に向けて、校舎の新築工事が、平成24年6月に着工となります。

竣工予定は、平成25年8月末です。

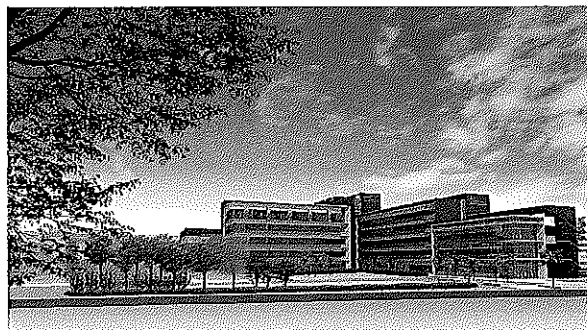
今回の新校舎は、老朽化した現在の体育館、及び食物栄養学科棟を解体し、その跡地等に、校舎2棟を建築する設計となっています。

東側の新館は、5階建ての食物栄養学科棟で、1階は調理室2室等、2階は共用の多目的教室や合併教室等、3階はコンピュータ演習室や食品・栄養科学実験室等、4階は理化学実験室3室等、5階は研究室等が配置されています。

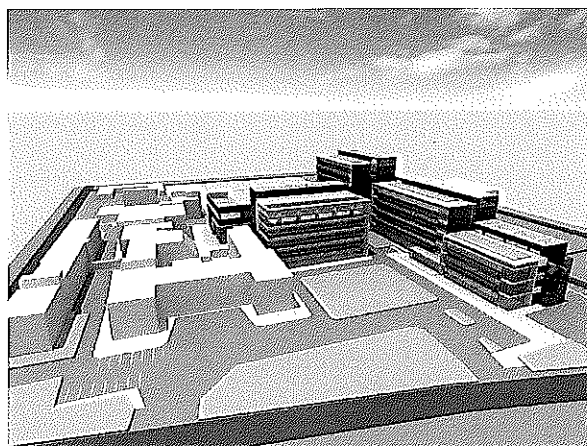
西側の新館は、1階は食堂、売店、及び保健室等、2階は体育館としても使用できるステージ付きの多目的ホール等が配置されています。

なお、解体部分に位置する教室等の移設改修工事が、4月始めに終了し、現在は、解体工事が行われています。

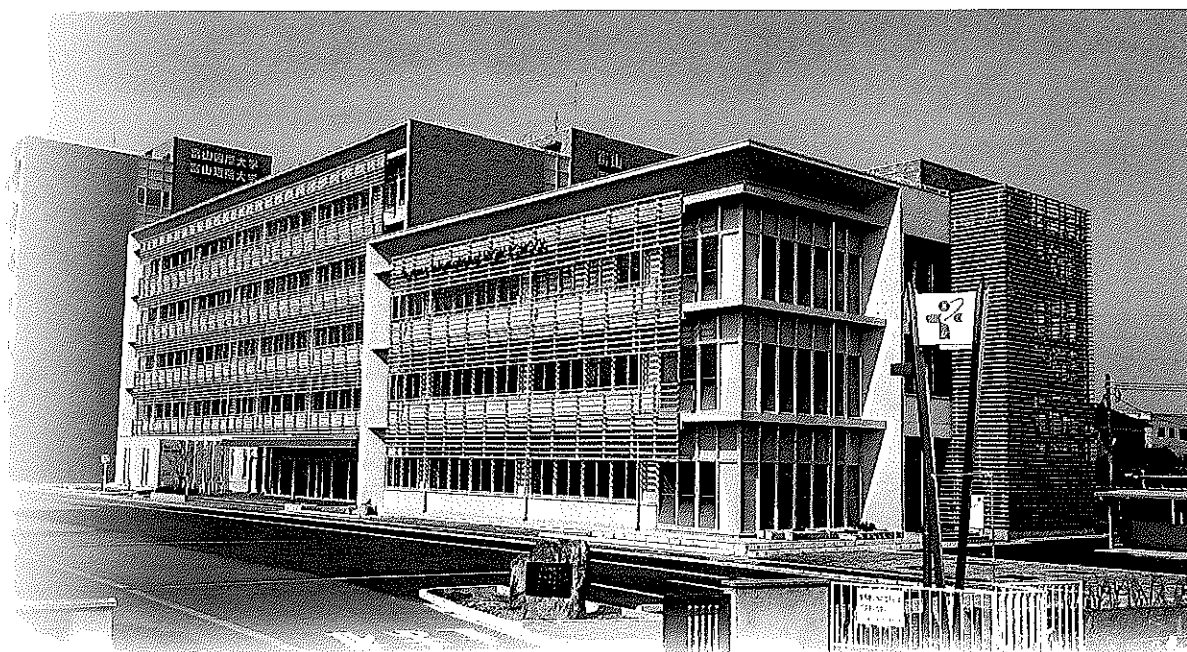
今後も学生・教職員の安全を考慮し、残りの校舎の改築も進んでいくこととなります。



〔完成全景図〕



〔鳥瞰図〕



みなぎ 活気漲る新校舎で新生国際高校へ

いよいよ待ちに待った新校舎Ⅱ期工事が完了しました。

新校舎（校内では本校新聞部の命名で東館と呼んでいます。）への引っ越しは降雪等の影響もあって、奇しくもⅠ期工事の時と同じ2月22日でした。大変慌ただしいものではありませんでしたが、降雪の合間を縫って全校生徒と教職員とが一丸となり、1日で大方の引っ越し作業を終えることができました。

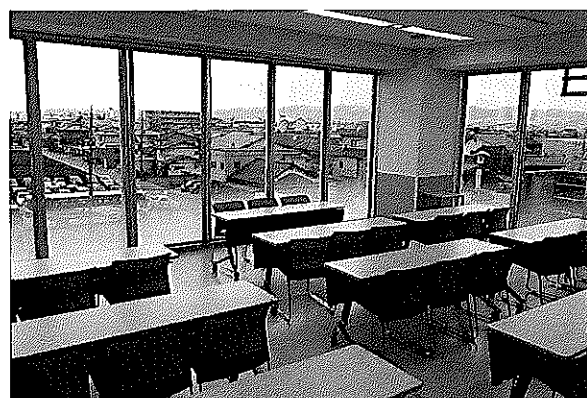
そして、東館での新しい学校生活によりやく馴染んだ3月12日（月）に竣工式を迎えました。当日は県内各方面から来賓をお迎えし、マスコミ各社の取材もあって、全県下に新生国際高校をお披露目することができました。

外観は、東館の3階建て、高校本館の5階建て、そして子ども育成棟の7階建て部分へと道路側から奥にバランス良く上へ向かって行き、国道8号線側からも旧国道側からも全体をしっかりと眺めることが

できる堂々たるものです。

内容も充実しており、東館3階には国際高校ならではの国際交流室があります。茶室や床の間に備えた和室もあり、長期・短期の留学生たちにとって日本文化理解の一助となる部屋になることでしょう。

また、国際交流室は窓が大きくとってあり、雄大な立山連峰を望むことができます。留学生はもちろんのこと、生徒たちの憩いの場となるに違いありま



せん。

さらに、一人一人の学習スペースが確保された学習室。完成前から生徒たちが楽しみにしていたものです。スクールバスの到着を待つまでの時間を有効に使ってくれるものと期待しています。

ソフト面でも、電子ホワイトボードや最新の機器が使い勝手よく採用されている立派なものです。それらを使って授業には一層の創意工夫を加えねばなりません。

新校舎への期待もあってか、4月に新入生を迎えて国際高校は新年度の収容定員（3学年合わせた全定員）を約100名も上回ることができました。この状況は県内の私立高校では群を抜いています。校内はいま、元気一杯の生徒であふれ、最初は広く感じられた校舎も狭く感じられるほど活気と熱気に充ちています。

校内のどこへ行ってもピカピカの新校舎ですが、竣工式で生徒代表が「新校舎を建てていただいた感謝の気持ちを忘れず、10年後・20年後の後輩たちにきれいな校舎を引き継いでいきます。」と述べた通り、生徒にはいつまでも清潔で丁寧に校舎を使用させなければなりません。そういう教育こそが校舎に負けない教育なのです。校舎を造っただけでは「仏つくって魂入れず」です。

よく言われる生徒募集アイテムは、校名変更・共学化・新制服・新校舎だそうです。国際高校はそのすべてのカードを使い切りました。しかし、最初にして最後のアイテムが残っています。それは教育内容の充実です。最近によく「国際高校は勢いがありますね。」と言われますが、決して現状に満足せず、過信に陥ることなく、名実ともに新生国際高校をつくろうと職員一同が誓いを新たにしています。

平成24年度入試状況

大 学

(平成24年4月4日現在) 単位: 人

学 部	募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者
現代社会	120	172	171	162	105
子ども育成	80	155	153	128	78
合 計	200	327	324	290	183

短 大

(平成24年4月4日現在) 単位: 人

学 科	募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者
食物栄養	80	137	137	113	87
幼児教育	80	153	152	111	92
経営情報	100	145	145	136	112
福 祉	70	69	68	80	60
食物栄養専攻	15	18	18	18	18
合 計	345	522	520	458	369

※経営情報学科と福祉学科の合格者数には、第二志望合格者を含む。

高 校

(平成24年4月9日現在) 単位: 人

コース・クラス	募集人員	出願者	受験者	入学者
国際英語コース	1クラス	194	190	33
特 進 コ ー ス	1クラス	512	509	42
フロンティアコース	5クラス	856	850	294
合 計	7クラス	1562	1549	369

平成23年度進路状況

(平成24年4月30日現在) 単位: 人

学 部	卒業生	就職希望者	就職決定者	決定率(%)	進学者
現代社会	113	94	91	96.8	4
国際教養	1	1	0	0	0
地 域	1	1	0	0	0
合 計	115	96	91	94.8	4

(平成24年4月12日現在) 単位: 人

学 科	卒業生	就職希望者	就職決定者	決定率(%)	進学者
食物栄養	89	82	82	100.0	3
幼児教育	92	88	88	100.0	1
経営情報	115	106	102	95.3	9
福 祉	57	53	53	100.0	1
合 計	353	329	325	98.8	14

食物栄養専攻	8	7	7	100.0	0
--------	---	---	---	-------	---

(平成24年3月31日現在) 単位: 人

大 学	入 学 者	入 学 者	入 学 者	入 学 者	入 学 者	入 学 者	入 学 者	入 学 者
富山国際大学	24	37	富山短期大学	29	34	専修各種学校	53	53
国 公 立	12	13	国公立短大	0	0	就 職	29	
他の私立大学	69	124	他の私立短大	8	9	そ の 他	11	
計	105	174	計	37	43	計	93	

平成24年度新入園児童

幼稚園

(平成24年5月1日現在) 単位: 人

	新入園児	在 園 児	計	男	女
3歳児	36	0	36	19	17
4歳児	3	37	40	26	14
5歳児	1	29	30	14	16
合 計	40	66	106	59	47

平成23年度卒園児童

(平成24年3月31日現在) 単位: 人

	男	女	合計
5歳児	18	11	29

平成24年度 予算概要

■短大校舎改築工事に本格着手

平成24年度の事業計画及び予算は、去る3月23日に開催された評議員会・理事会において承認されました。

今年度予算の大きな特徴は、①呉羽キャンパスの老朽化校舎の耐震化対策として、昨年度までの高校校舎改築に続き、短大校舎改築に本格的に着手すること、②大学子ども育成学部が完成年度を迎えること等が挙げられます。

呉羽キャンパスの施設改修には、すべて自己資金が投入されることから、学園の財務基盤の強化が重要課題となります。そのためには、学生生徒数の安定的確保や補助金、受託事業等の外部資金の積極的獲得及び経費の節減などが欠かせません。

大学子ども育成学部においては、完成年度を迎えるため、初めての卒業生を社会に送り出すことになり、就職実績によって学部の真価が問われることとなります。このため、就学支援やキャリア教育支援に重点を置いた予算編成となっています。また、東黒牧キャンパスにおいては、施設設備の規模と収容定員が見合っていないため、学外者へ

の貸与など遊休施設の活用策について多面的に検討する必要があります。

学園全体の財務状況は、大きな施設設備投資による自己資金の減少が続き、悪化傾向にあることから、今後経営改善計画を着実に履行し、経常的な収支における赤字体質から脱却することが必須となります。

主な予算の概要は、次のとおりです。

消費収支予算において、消費収入の部では帰属収入合計が2,671百万円（対前年度当初予算比90百万円増・3.5%増）となり、これから基本金組入額を差し引いた消費収入合計が2,208百万円（同101百万円減・4.4%減）となっています。消費支出の部では、消費支出合計が2,854百万円（同151百万円増・5.6%増）となっています。この結果、消費支出超過額（いわゆる赤字額）は、646百万円（同253百万円増）となり、前年度繰越消費支出超過額2,636百万円に、平成24年度の赤字額646百万円を加え、大学地域学部及び国際教養学部廃止に伴う基本金取崩額2,245百万円を差し引いた1,037百万円が翌年度繰越消費支出超過額（累積赤字）となっています。

資金収支予算書

平成24年4月1日から
平成25年3月31日まで

(単位:千円)

		平成24年度予算額	平成23年度当初予算額	差 異
収入の部	学生生徒等納付金収入	1,841,158	1,735,481	105,677
	手数料収入	32,939	33,032	-93
	寄付金収入	705	2,005	-1,300
	補助金収入	570,444	573,358	-2,914
	資産運用収入	28,885	34,020	-5,135
	資産売却収入	1	1	0
	事業収入	77,062	76,102	960
	雑収入	117,660	126,794	-9,134
	借入金等収入	0	0	0
	前受金収入	469,315	469,615	-300
支出の部	その他の収入	1,032,627	430,093	602,534
	資金収入調整勘定	-494,615	-488,452	-6,163
	前年度繰越支払資金	929,000	1,101,000	-172,000
	収入の部合計	4,605,181	4,093,049	512,132
	人件費支出	1,708,793	1,720,499	-11,706
	教育研究経費支出	577,724	536,362	41,362
	管理経費支出	121,721	128,029	-6,308
	借入金等利息支出	540	3,114	-2,574
	借入金等返済支出	5,090	29,780	-24,690
	施設関係支出	1,025,040	448,302	576,738
支出の部	設備関係支出	36,293	51,453	-15,160
	資産運用支出	183,614	54,510	129,104
	その他の支出	261,866	440,500	-178,634
	〔予備費〕	15,500	15,500	0
	資金支出調整勘定	-91,000	-236,000	145,000
	次年度繰越支払資金	760,000	901,000	-141,000
	支出の部合計	4,605,181	4,093,049	512,132

消費収支予算書

平成24年4月1日から
平成25年3月31日まで

(単位:千円)

		平成24年度予算額	平成23年度当初予算額	差 異	
消費収入の部	学生生徒等納付金	1,841,158	1,735,481	105,677	
	手数料	32,939	33,032	-93	
	寄付金	2,906	2,708	198	
	補助金	570,444	573,358	-2,914	
	資産運用収入	28,885	34,020	-5,135	
	資産売却差額	1	1	0	
	事業収入	77,062	76,102	960	
	雑収入	117,660	126,794	-9,134	
	帰属収入合計	2,671,055	2,581,496	89,559	
	基本金組入額	-463,149	-272,215	-190,934	
消費収入の部合計		2,207,906	2,309,281	-101,375	
消費支出の部	人件費	1,711,793	1,724,499	-12,706	
	教育研究経費	848,924	819,762	29,162	
	管理経費	123,861	130,059	-6,198	
	借入金等利息	540	3,114	-2,574	
	資産処分差額	153,500	9,800	143,700	
	〔予備費〕	15,500	15,500	0	
	消費支出の部合計		2,854,118	2,702,734	151,384
	当年度消費支出超過額		-646,212	-393,453	-252,759
前年度繰越消費支出超過額		-2,636,390	-2,626,936	-9,454	
基本金取崩額		2,245,869	0	2,245,869	
翌年度繰越消費支出超過額		-1,036,733	-3,020,389	1,983,656	

資金収支予算において、平成24年度予算を資金の流れでみると、収入額は、学生生徒等納付金収入、補助金収入、事業収入等に加えて、平成24年度入学生の前受金や平成23年度末の未収入金の見込額等を加えると、収入合計は4,605百万円（同512百万円増・12.5%増）となっています。

一方、支出額は、人件費支出、教育研究経費支出、管理経費支出、借入金等利息支出、借入金等返済支出、施設・設備関係支出等に、翌年度への繰越支払資金を加えて4,605百万円（同512百万円増・12.5%増）となる見込みです。

学校別消費収支予算をみると、3年連続で、全ての部門で赤字予算編成となっています。理由としては、呉羽キャンパスにおいて、高校及び短大の校舎改築計画を実施したことが挙げられます。また、大学においては、経常費ベースでの赤字予算編成が続いています。大学は、経営改善計画を着実に履行することによって、慢性的な赤字体質から脱却できるよう、最善を尽くさなければなりません。そのためには、学生数、志願者数の確保は言うまでもなく、予算の執行にあたっては、その必要性を十分に検討し、不要不急の支出を抑制しなければなりません。

私学を取り巻く環境は、18歳人口の減少や高等教育への進学率が頭打ちの傾向にあることなどにより、非常に厳しい状況にあります。また、地域による二極化、規模による二極化などの傾向が顕著となり、特に地方の小規模大学は、存続をかけた差別化の取り組みを行わなければ、淘汰されていくことは必至です。18歳人口が約120万人で推移するのは今後10年間で、それ以後はまた減少期に入ります。今からの10年間を生き残りをかけた取り組みのためにどのように活かすか、それが私学に課された最重要課題と言えます。これは本学園においても決して例外ではありません。

平成24年度部門別消費収支予算書 (単位:千円)

科目	部門	法	人	大	学	短	大	高	校	幼稚園	総	額
消費収入の部	学生生徒等納付金	0	779,495	696,594	334,580	30,489	1,841,158					
	手数料	0	9,781	15,688	7,430	40	32,939					
	寄付金	2	1,200	3	1,001	700	2,906					
	補助金	0	155,766	133,363	262,883	18,432	570,444					
	資産運用収入	25,020	1,365	2,300	200	0	28,885					
	資産売却差額	0	0	1	0	0	1					
	事業収入	0	15,192	30,050	25,000	6,820	77,062					
	雑収入	500	82,160	33,000	2,000	0	117,660					
	消費収入合計 (A)	25,522	1,044,959	910,999	633,094	56,481	2,671,055					
	消費支出の部											
消費支出の部	人件費	38,355	724,946	540,663	368,668	39,161	1,711,793					
	教育研究経費	0	375,492	274,883	175,656	22,893	848,924					
	管理経費	12,406	48,163	46,367	16,065	860	123,861					
	借入金等利息	0	0	540	0	0	540					
	資産処分差額	0	2,200	148,000	3,300	0	153,500					
	予備費	2,000	5,000	5,000	3,000	500	15,500					
	消費支出合計 (B)	52,761	1,155,801	1,015,453	566,689	63,414	2,854,118					
基本金組入額	第1号基本金	0	9,951	227,630	175,558	0	413,139					
	第2号基本金	0	0	50,000	0	0	50,000					
	第3号基本金	10	0	0	0	0	10					
	第4号基本金	0	0	0	0	0	0					
	基本金組入額合計 (C)	10	9,951	277,630	175,558	0	463,149					
当年度消費支出超過額 (D)=(A)-(B)-(C)		△27,249	△120,793	△382,084	△109,153	△6,933	△646,212					
前年度繰越消費支出超過額 (E)		—	—	—	—	—	—				△2,638,390	
基本金取崩額 (F)		—	—	—	—	—	—				2,245,869	
翌年度繰越消費支出超過額 (D)+(E)		—	—	—	—	—	—				△1,036,733	

本学園は、平成25年度に創立50周年という大きな節目の年を迎えます。これを契機として、新たな50年に向けて、長い歴史と伝統を守りながら、「地域に根ざした学園」として、また「地域に愛される学園」として、さらなる発展を続けなければなりません。

今後とも、地域が求める魅力ある学生生徒を育成し、教育研究成果を積極的に社会に還元するよう全教職員が一丸となって努力する必要があります。

そして、そのためには確かな経営基盤が不可欠であり、学生生徒等の定員充足、外部資金等の収入確保、経費の抑制と効率的執行が求められます。

◆退職者一覧 (平成24年3月31日付)

〈学園本部〉押田 博 (事務局長・常務理事)
 〈大学〉北野 孝一 (現代社会学部 教授・学部長)
 James William Porcaro (現代社会学部 教授)
 大川 公一 (国際教養学部 准教授)
 〈短大〉森 久子 (幼児教育学科 教授)
 山森 美和 (幼児教育学科 講師)
 朴木 訓夫 (学生部就職支援センター長・参事)

◆新任者一覧 (平成24年4月1日付)

〈大学〉石原 大三 (入試センター広報課 参事)
 〈短大〉山岸 博美 (食物栄養学科 講師)
 小西 尚之 (幼児教育学科 講師)
 栗林 洋介 (事務部長・事務部庶務課長事務取扱・学園本部事務局次長(兼務))
 岡田 良一 (学生部就職支援センター長・参事)
 〈高校〉林 香織 (教諭) 藤木 優子 (講師)
 坂田 芳寛 (講師) 小出 徳大 (講師)
 本田 一将 (講師) 森田 道美 (講師)
 〈幼稚園〉梶 義典 (教諭)

富山国際大学

エクステンション・カレッジ開設

本学は、「共存・共生」の精神を基本理念に掲げ、激動する時代の潮流に対応できる人材の育成を通して国際社会と地域社会に貢献することを使命としています。その知的資源を広く社会に還元すべく、本年4月より、生涯学習のための諸活動を「地域交流センター」活動の一環として集約し、地域における新たな知の拠点の構築を目指してエクステンション・カレッジを開設しました。

当カレッジは今後、全学的な協力体制の下に英知を結集し、講座の量的かつ質的な向上に努めて参ります。

学生・地域の方々からも愛される大学食堂に～東黒牧キャンパスの食堂がリニューアル！～

平成24年4月2日より本学東黒牧キャンパス厚生棟の食堂・売店は、㈱ニッコトラスト東日本が運営することになりました。学生・教職員に加えて、地域の方々にも利用してもらえる大学食堂を目指し、昨年より学生・教職員で構成された「食堂・売店活性化プロジェクト」を学内に組織して、業者を交えた検討会議を幾度も開催しました。また、「厚生棟」という呼び名も、学友会が中心となってこれから実施する愛称コンテストで、学生から親しみやすい名称を募る予定です。

富山短期大学

ホタルイカの脂肪肝改善効果に関する学会発表

食物栄養学科竹内准教授らの研究グループは、香川大学農学部（松尾達博教授）および富山県農林水産総合技術センター食品研究所との共同研究により、富山県ほたるいか協会の協力を得て、ホタルイカに脂肪肝の改善効果のあることを、動物実験において初めて実証しました。本研究の内容について第66回日本栄養・食糧学会大会（平成24年5月18日～20日東北大学）で発表しました。

ホタルイカの健康機能については、これまでほとんど研究が行われてきませんでした。今回、初めてホタルイカをラットに投与し、血中および肝臓脂質への影響について検討を行った結果、血中および肝臓の脂質を低下させる作用のあることがわかりました。今回の学会発表に関するニュースは、全国的に反響を呼び、新聞やテレビなどで大きく取り上げられました。

富山国際大学附属高等学校

県内最多の新入生



4月9日（月）に入学式を挙行了しました。元気一杯の新入生が新しい制服に身を包み、少し緊張気味の面持ちで、新しい校舎に目を見張りながら入学してきました。

圧倒されたのはその数です。245名定員に対し、369名の入学者ということで、県内の全高校のうち最多の新入生を迎えることができたのです。

入学者数は、その学校に対する評価のバロメーターです。今までの本校の地道な教育が、昨年の野球部の活躍と新校舎効果を契機として爆発するかのようには認められたのです。

今まで以上に学校に活気が溢れていることを実感しながら、選ばれる学校になったという自信を深める一方で、選ばれた責任を教職員一同重く受け止めています。

富山短期大学附属みどり野幼稚園

未就園児親子クラブ

みどり野幼稚園では、未就園の親子を対象とした子育て支援として、毎月2回の「親子クラブ」を開催しています。在園の子どもたちや同じ年齢の未就園の子どもと一緒に遊んだりすると同時に、自然いっぱいの園庭で、日頃なかなかできないダイナミックな遊びをしたり、保護者の方たちの交流の場となっています。また、国際大学子ども育成学部や短大幼児教育学科の教員や学生の協力を得て、子育て相談や遊び等の指導を行い、参加した親子に喜ばれています。学園のそれぞれの学校の協力により、地域の子育て支援に貢献できる活動として、今後より充実して行きたいと思っています。「親子クラブ」については、みどり野幼稚園ホームページ上でも案内しております。

